

学校保健にかかわる現状と課題

部長 月岡 茂久

1 学校保健の動向

多くの支部が、県養護教員研究協議会の研究主題「児童生徒の健康管理能力を育成するための養護教諭の支援」を受けて研修に取り組んでいる。

上越地区の柏崎市刈羽郡学校保健部では、市教育委員会、教育センター、柏崎地域振興局、保健主事・養護教諭部会が一堂に会し、保健教育を推進するための連携の在り方を探るパネルディスカッション形式による研修や実践に活かすためのスキルを身に付ける研修を行っている。妙高市学校保健会では、学校保健施策の充実と保健教育の研究推進を図り、児童生徒の健康の保持増進がより円滑に効果的にすすめられるよう継続的な取組を行っている。その一つとして関係機関と連携し中学校区の特色を生かした「朝！元気スタート運動」を継続的に実施している。妙高高原中学校区では、地域や学校でみられる子どもたちの健康課題を、メディアコントロールを通して解決していく方法について研修をすすめている。

中越地区の長岡市三島郡教育研究協議会・学校保健部会では、小中9年間の視点から、児童生徒の健康管理能力の育成に努めている。個人の研究や実践、中学校区単位のグループ研修、研究推進委員が運営する全体研修を効率よく回しながら研修を進めている。魚沼市学校保健部では、小中連携の利点を生かし、中学校区単位の研修テーマを決め、発達段階にあわせて、各校でより効果的な実践ができるような研修をすすめている。

下越地区の五泉市では、健康管理能力の育成を生活習慣の改善に求め、生活実態調査を活用した実践的な研修をすすめている。市全体としてメディアと上手に付き合うことができる児童生徒の育成をめざし、統一して「アウトメディアデー」を設定し、児童生徒への意識付けと家庭、地域への浸透を図っている。村上市小学校教育研究会学校保健部では、「心因性の来室者に対する養護教諭の判断と対応」を研究主題に掲げ、児童生徒の健康相談の記録の蓄積を行うとともに、フィジカルアセスメント（問診・視診・触診・聴診等）による判断についての実践的な研修をすすめている。

2 学校保健の課題

社会環境や生活環境の急激な変化が子どもたちの心身の健康に大きな影響を与えている。性の逸脱行動、肥満などの生活習慣病の兆候などの現代的健康課題に加えて、児童虐待などのメンタルヘルスに関する課題や感染症、アレルギー疾患、メディアと健康に関する課題が、顕在化してきている。

このような児童の健康にかかわる状況を改善するため、「自分で自分の健康を管理できる力（ヘルスプロモーション）を身に付ける」ことが求められている。その達成に向けて、さらに、学校関係機関、県学校保健会、家庭及びPTA、地域などと連携し、一体となって取組を推進していく必要がある。